

祈り

2011. 3. 11

和久内明

海底プレートは眠ることなく
ぶつかりあい きしみ 沈み
一気にはね上がって
海洋を打ちあげる
大津波を産む
地球は、地底、海底で
巨大な圧力が
激しく衝突する宇宙の塊である。

2011年3月11日午後2時46分・・・

初春の日射しを受ける平穏な陸地に
猛烈なスピードで押し寄せてくる大波
岩手の陸前高田市 宮城の南三陸町
ほかにも ほかにも ほかにも
うち砕かれ うち叩かれ
四方八方ばらばらに 跡形もなく果てた街
田畑 漁港・・・

地上から消え失せた
家畜たち 動物たち
犬たち 猫たち
公園 道路 樹木たち
花開く日を待っていた草花たち
鳥居 寺社 教会
学校 病院 保育所
それから それから・・・

電気は止まり ガスも出ない
食料はどこ 飲み水はどこ
灯油なく 暖房もない
体育館 高台 避難所に身を寄せる人々

粉雪のちらつく底知れない不気味な暗闇のただ中で
凍りつく冷気に震える心と身体

全貌が分かり始めるにつれ
余りに強大な天災の暴力の前に
破壊されたもの 失ったものへの
形容しがたい悲しみと哀悼の念が
日本列島全体に湧き、たしかに今・・・

見晴らす限りの がれき がれき がれき
救援 支援に当たる無数の人々
被爆の恐怖
原子炉と戦う男たち
本当に人間らしい姿が
澄み切って
能う限り
必ず勝たなければならない闘いに挑んでいる

祖先が伝えてきたもの
わたしたちの心にしみ通っているはずのもの
大惨事が教えるもの

朝が訪れ 重ねる祈り
夕が訪れ 重ねる祈り
夜が訪れ 重ねる祈り
曇っても 雨降って風強まっても
祈り重ねる

祈る 祈る
亡き人々の御霊に 祈る
無言の力
大きな力
胸に手を当て
祈りを重ねる 祈る
祈る 祈る